

「効果的・効率的な研修プログラムの開発」

調査の概要

◆課題認識

- ・初任者の経験や適性に応じた研修となっておらず、また、指導教員等に負担が集中している。
- ・メンターチームによる研修のテーマに偏りが見られる。

◆調査研究の目的

- ・効果的・効率的な研修プログラムを開発する。
- ・メンター研修の進め方やテーマ設定の仕方を再整理し、多様な実践例を収集する。

◆調査研究の方法

- ・初任者が校内において研修する内容を、基礎的・基本的な内容（初任研コア・プログラム）とそれ以外の内容とに整理し、年間150コマを下限として、「メンター研修」「事例研修」「点検指導による研修」を含む多様な研修方法により試行実施する。

◆調査研究校

- ・群馬県伊勢崎市 小学校3校
- ・群馬県藤岡市 小学校2校
- ・群馬県桐生市 小学校3校、中学校1校

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

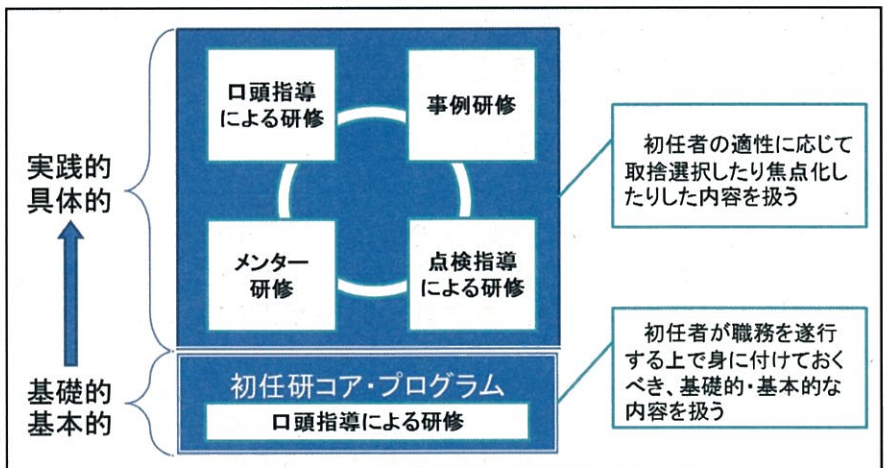
- ・研修項目及び指導内容例を9領域、64項目から5領域、39項目に整理した。

②ポイントB

- ・研修コマ数の下限を180コマから150コマとした。

③ポイントC

- ・年度当初に校長がメンター研修計画書を作成した。



◆成果

- ・調査研究方式「研修プログラム」を開発することができた。
- ・指導教員の指導コマ数を軽減することができた。
(指導教員の指導コマ数の平均が189コマ(H29年12月時点)から109コマ(H30年12月)へ減少)
- ・初任者の必要感だけでなく初任者に必要な内容をテーマとした、今後の参考となる多様な実践を収集することができた。
(メンター研修のテーマ 若手から要望の高い内容37件、若手に必要な内容59件)

今後の課題

◆「持続可能な制度化」に向けて

- ・メンター研修を学校主体で進めるための研修コーディネーターの役割について
- ・校内の既存の研修や分掌等を活用した効率的なメンター研修の在り方について